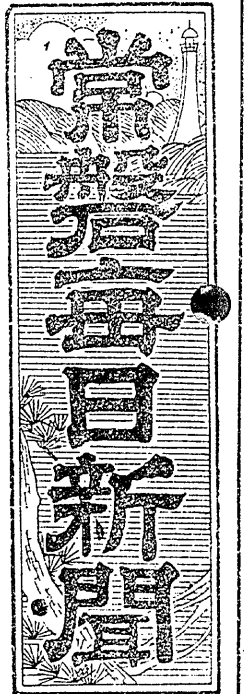


刊夕 日八月六



定価 一部金五銭一ケ  
 廣告料 五銭一ケ  
 日曜 祭日の 翌日 休刊  
 発行所 常警密日新聞社  
 印刷所 常警密日新聞社

### 四季を飾る 美しい花壇

M A 生

【2】  
 表庭や裏庭や、植込みの中の日當りの良い場所などに作られた謂はゞ極くあたりの花壇です。たゞ今迄の花壇が、あちらに一方たまりダリアが咲き亂れ、こちらにアスターや雁来紅が寄り合つてゐるといつたやうな、誠に見映が悪く雑然としたものに對して、これは草花の高低を考へ、花期を考慮し、しかも花の色を適當に鹽梅したのが違ふ點でせう。

生の中などに花の幾何模様を描き出すのです。

#### 植込みと管理

さて花壇の種類と場所が決定したら先づ地ごしらへです。その時機はやはり春先の三月中旬から四月の初めにかけて。土は一尺下位まで掘返し、元肥として腐熟した木の葉や糞などを澤山入れ、土をかぶせて平ひらに均し、前もつて考へておいた配置圖に倣つて地上に模様を描き、手初めに夏咲草花を植付け、次第に夜店や花屋から足りない苗や種子を買求めて、適當な所に植込んで殖して行りませう。

- 朝 味の汁 しじみ 小皿 やきのり
- 晝 そば 小皿 いんげん 辛煮
- 晩 シューマイ ツスタース 清汁 蕪とわかめ

例へばこゝに白いマーガレット真紅のサルビアがあるとして、これを二塊りに並べて植込むよりも、中心に丸くサルビアを植付け周囲にマーガレットを配植したらどうでせう。更にこれにカーネーションを放射状に配置し、縁取りとして櫻草を植込んだならば誰が見ても感心するやうな花壇となるではありませんか。事實は、ほんの一寸した工夫と手間を掛けただけの話なのに。

その後も度々油粕の腐熟液を葉にかゝらぬやうに施し、混んでゐる所は引抜くし、少ない所へは植足したり、或ひは雑草の除去や害虫の駆除など、とかく園藝家には暇のない日が続きます。大きな花を咲かせるには脇芽を摘み、数多く咲かせるには、五、六枚葉が出た頃には、五、六枚葉側枝の芯も止めて、なるべく枝の数を多くすることや夏の灌水には米の磨汁を與へると、施肥の効果も得られ、一舉兩得だといふことなども心得ておく必要がありませう。

病氣は木灰を常に與へて丈夫に育し(もつとも灰はツツジやサツキには禁物です)通風を良くすれば大抵大丈夫ですが、あぶら蟲の始末だけは困りものです。これに最も効果のあるのは硫酸ニコチンの一千倍液ですが、手輕には洗濯液を數回撒布しても死滅させることが出来ず、その他毛蟲などはやはり棒で叩き落とし、足で踏みこむより方法はないでせう。

## 社員採用

固定給參拾圓外手當支給  
 二十才以上五十五才迄  
 希望者は履歷書持參本人來談  
 平町鍛冶町十八  
**日本商會株式平支部**  
 擔保貸附  
 現物賣買  
 公債賣買  
 債券

## 婦人科科

醫學博士 **五十嵐雄二**  
 手術室 完備  
 平町・新川町一二  
**五十嵐醫院**  
 電話三七〇番

### ヒヨケと雨具

取島のヒヨケ如何にと人とあはせたい時には、五、六枚葉が出た頃には、五、六枚葉側枝の芯も止めて、なるべく枝の数を多くすることや夏の灌水には米の磨汁を與へると、施肥の効果も得られ、一舉兩得だといふことなども心得ておく必要がありませう。

日除	雨具
店舖用、事務所用 御座敷用、其ノ他	作業用、馬車用シート トラック用、各種雨衣

朝日夕日に便利なるかな

除日・覆雨諸・暮天山登  
**敷島トント商店**  
 平町六丁目

## 外科

専門線 X  
**上田外科醫院**  
 平町南町  
 電話一二九番

## 吉田眼科醫院

平紺屋町 電話六八番  
 醫學士 吉田久雄

### 格 紳士靴 婦人靴 學生靴

夏向白靴  
 各種取揃へてあります  
 自製注文靴は品質吟味……  
 期日迅速……  
 御用命の程を……  
 電話六五九  
**菊地靴店**  
 平四 マルト内  
 強

## 根本婦人科醫院

手術室完備 (入院隨時)  
 平町南町五二一  
 根本 莊次郎  
 根本 貞雄  
 電話三四番

### 端午の節句御飾品一式 特價大賣出し

御座敷幟、布紙鯉、五月武者人形陣道具類、別選白抜布鯉及附屬一式例年の通り豊富に取揃へ、良品品を安く御得意本位主義を以てドン／＼特價に可差上御一覽の程を御待致します

陳列品中三尺緋緘及勿來の關人形大函入右品は特に御相談に應じます

落花生間屋  
**叶星號 加藤商店**  
 平三丁目

## 和漆器と家具は 和久

平三丁目

# 日本晴れの昨日

## 少年團の大会

### 教育總會に二時間に亘り

#### 二荒伯が皇國精神を高揚

に亘る大講演に満場襟を正して静聴した

既報聯盟本部より理事長二荒芳徳伯爵を迎へて少年團大會は日本晴れの昨日盛大に開催された、二荒伯は午前十一時一分平驛着下り列車で途中迄出迎へた川崎團長を隨行し

青沼總理 篠山、千葉赤津の各副總理、阿部顧問柴田平警察署長其他有志に挨拶を交はしつゝ、颯爽たる團服姿でプラントホームに降り立ち山崎團長の先導で驛前に歡迎に出動した

健兒達の 作る杖門を通過、沿道兩側に佇立した健兒達に三指禮で答へながら半第一小學校に自動車を走せ直ちに本郡教育會總會に臨み三種の神器より説き起し

古事記や 日本書記を引例し金屬文明を有せる天孫民族が如何に優秀な民族として他民族に對する同化力の偉大であつたかを民族移動の事績に徴して力説、忠愛の本義及び皇國精神を熱心に高揚更らに

少年團の 社會教育上に於ける位置及びその意義を講述する處あり約二時間

## 初夏の光に

### 國旗輝く

#### 平少年團の

#### 結團披露式

平少年團の結團披露式は昨日午後一時半より縣社子鎌倉神社前に於て舉行、來賓多數に迎へられて二荒聯盟理事長着席、千葉副總理が

擧式を宣するや山部神官朗々たる神詞裡に修祓あり、君ケ代を一唱して健

## 所謂準備ある人

### 此の訓練を健兒に施す

#### 青沼總理の式辭

本日茲に平少年團結團披露式を舉行するに方り大日本少年團聯盟理事長二荒伯爵閣下を御迎へいたし來賓及父兄各位の貴臨を忝ふしたるのみならず友團健兒諸子の參列を得ましたことは本團の最も光榮とする所であ

平町の爲めにしつかり頼むよ」と元氣な聲で訓辭を述べ、健兒等は可憐な三指の合圖で宣誓とおきてを暗誦、川崎團長の挨拶あり相馬郡鹿島少年團佐藤團長祝電の朗讀、東京市聯合少年團長牛塚虎太郎大日本少年團聯盟理事米本卯吉、東京久留

## 後援會の組織を

### 保護者が申合す

#### 嚴肅な健兒の行動に

#### 參觀者感嘆

結團披露式、終へた平少年團の健兒百十餘名は午後二時半から平第二小學校の校庭に參集、柏木キヂ班長、鳴原次長の兩健兒に依りて國旗を掲揚され、神宮並びに皇居を遙拜、濱通り、既設團の中村町、原町、鹿島町の少年團と國旗を交又した平少年團が仲齒入りの交歡を誓約する式があつ、二荒理事長は分列した健兒達

## 白髮童顏の老翁

### 平町に一點景を描く

#### 子供等大喜び

## 名物の的存在

少年團大會の前、平町に白髮童顏の老翁が現れた街頭に群れ集ふ子供を見ては自分紙を出して子供等の鼻の下に始末をやりつたり、菓子と與へたりやつたり、菓子と與へたり人生のあらゆる経験を深く刻み込んだ幾筋かの太い額

#### 實に善い

#### 健兒達だ

#### 感激して語る

平少年團の擧式に臨んだ浪江町少年團の百足相談役は語る、二荒閣下が單獨な少年團の結團式に態々お出掛けになつたといふ事は東北では初めての事で實に平町少年團の光榮とすべきで我々は羨しいと思ふ、殊に御地の健兒諸君の規律訓練のよく行き届いて居る事は二荒閣下も賞讃して居たが我々も親しく實況を見て教へられる處が尠くなかつた、實に善い健兒達が集つたものである

#### 疲れも見せず

#### 二荒伯歸京

#### けふは滿洲へ出發

平少年團の爲めに間暇なく活動した二荒伯は父兄座談會を終、後住吉屋本店に少憩て疲勞の色もなく午後六時半平驛發で歸京、本日は滿洲へ向けて出發の筈

# 表彰された 教育功勞者

## 昨日教育部會 總集會席上で

既報昨七日午前九時から平第一校講堂に開催された石城教育部會總集會席上教育功勞者として表彰された氏名左の如くである

- △二十五ヶ年勤績
  - 内郷第二堀一郎 大野尋
  - 高鈴木龜之助 平第三赤
  - 津千里 小名實業高木忠
  - 三 神谷永山ソ
  - △五ヶ年無欠勤
    - 錦鶴沼忠晃 赤井第一廣
    - 川登志雄 大野草野明住

# 國道舗装工事の 陳情運動益々急

## 陳情運動益々急

(既報) 過般平町會議室に於て平町外關係十二ヶ町村長が種々熟議する處あつた國道第六号線勿來、久之濱間の改修工事施行實現陳情に就いては来る十日平、大浦湯本、植田四ヶ町村長が同時に上京して内務省大藏省に陳情を行ふことに決定、尙南省陳情後の模様は依つては東北振興會關係へも同様運動を行ふことになり飽くまで十二年度からの工事施行を期すると

鈴木訓導出張 平第一校訓導鈴木武夫氏は今八

者は左の如くである  
▲六十米八秒 二年木村トシ子 ▲百一三秒六同人 ▲二百米三〇秒 二年馬月キヨ子 ▲四百米リレ一五八秒 三年チム(五十石、木村、織田、薄葉) ▲八百米リレ二分五秒 同 ▲走高跳一米三〇三年正木千鶴子 同薄葉久子 ▲走幅跳四米七九三年五十石剛子 ▲三段跳九米七九木村トシ子 ▲ボールスロ一二六米四年高橋智子

# 磐炭が優勝

## 磐陽野球決勝戦

既報第十回磐陽野球大會は六日磐中、古河の兩球場で豫選を行つた結果磐炭、古河全湯本、平俱の四チームが準決勝に出場資格を獲得七日磐中球場で準決勝並に決勝を舉行、磐炭チームが優勝、阿部審判協會長から優勝旗を授與されたが準決

勝戦からの戦績左の如し

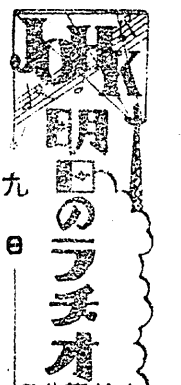
△準決勝  
磐 炭 20 — 5 古河  
全湯本 23 — 7 平俱

△決勝  
磐 炭 17A — 6 全湯本  
湯本 1000040016  
磐炭 2200319A 17A

# 妙案の積りで 試みたが失敗

## 食へないためから 無銭旅行の悪謀み

栃木縣足利郡富田村生れ當時住所不定無職中山仙太郎(三)は昨七日午前二時頃平町一町目で平第一平方で七十錢餘の無銭飲食を働き平署に檢舉されたが中山は去月中旬頃まで仙臺市内で日雇業を営んでゐたが最近



今晩は北西の風  
雲 明日は北西  
の風雲後雨

# 今晩の部

後六、〇〇 子供の時間  
偉人物語「水戸光圀」東京放送  
後六、二五 基礎英語講座  
鹽谷榮  
後七、二〇 講演「シヤムへの使を終へて」安川雄之助  
後七、五七 オリムピックの夕

# 知事夫人 來平の豫定

## 來平の豫定

既報第一回愛國婦人會平分会總會は十四日同町磐城高等女學校講堂で開催されるが同總會臨席の愛婦縣支部長伊藤知事夫人は十三日上野發列車で午後十時二十八分平驛着住吉屋本店に一泊の上十四日總會に臨み同日午後十二時四十九分で歸福する筈、尙同總會に於ける講師は愛婦本部囑託講師の薄田夫人であるが題は未定であると

# 軟式豫選 鐵道が連勝

## 鐵道が連勝

既報本縣體育協會主催第三區代表チーム選出大會は昨七日午前八時から平第一、平商の兩球場で行れたが準決勝後の戦績は

古 河 0 — 5 平鐵道  
平消友 3 — 7 平 田  
平鐵道 4 — 1 平 田

昨年優勝の平鐵道連勝決勝に臨んだ隅田クラブと共に

# 痴漢と誤解

## 散々に殴る

小名濱町字定西野菜葉澤田(三)は七日平署に同町熊田留吉(五)を相手取り傷害の告訴を提起したが理由は去月廿八日熊田の自分の親戚に當る白痴の同町根本トク(三)をトク方に送つて行く途中トクが逃げ出し澤田方に飛びこんだのを熊田を痴漢と誤解した澤田が同人を散々に殴打、全治二週間の傷害を負はせたものであると

# 平職業紹介所報告

- △漁業雜夫 三十迄 給十圓
- △農夫 四十迄 年給五十圓
- △女中 卅才迄 月給五圓
- △職を求める方
  - △集金員 二十四才 高卒
  - △事務員 十九才 中卒
  - △通勤女中 三十一才 高卒
  - △トラック助手 二十四才 高卒
  - △鐵工職 二十二才 高卒

# 磐女籠球指導

## 既報

来る十三、四の兩日開催される女高師主催の關東女子中等學校籠球大會に出場する事になり目下猛練習中である磐女籠球部は昨七日仙臺市に開催された東北高等籠球大會に出場優勝した東京高師選手一行六名の歸途を利用して今八日午後一時か

戸光園「東京放送童話研究會」  
後六、二五 青年の時間  
「心構へは静かに」金子健二  
後七、三〇 講演「更生途上のドイツ國に就いて」黒正殿  
後八、〇〇 謡曲「加茂」寶生新他  
後八、三五 常磐津「二月堂淀川堤狂亂」常磐津今榮他  
後九、〇〇 ヴァイオリン獨奏「ヴァイオリン協奏曲第四ニ短調」鰐淵賢舟  
日響伴奏シフェルブラツト指揮





(著上級上)

悟道軒圓玉 (作)  
丸尾至陽 (著)

一四一 津田落命す

青木彌太郎に津田幸次郎はごう間にかけて石を六枚重ねられた幸次郎はデットこれをこらへたが結上げた髪を束ねた元結がブスリと切れバラリと髪が散つてそれが顔にかゝる。津田は下唇を咬みしめウームといつたがその苦痛をしのぶ、はじめは充血して顔に赤色をさして来るが、次第にそれを消えて蒼白くなるすると唇よりタラタラと血をたらす。津田は瘦がたな好男子とて一層物すごい、青木はこれまたデットとこらへて

青「津田死ぬまでもいふな……」  
津「ウム、俺も武士だ、役人もう石はこれぎりか、もつと重ねろ」  
ときぬをさくやうな聲で申した、そこでまた一枚乗せた、合して七枚、その時に津田は首を左右にふりハツハツと太い息をついてウームといつたまゝ絶命した、責めるものは驚いて直に石をおろしなはせとく醫者は氣付を興へて介抱したがもうことぎれてゐる、とら／＼津田はせめ殺され

た、青木はこれを見し、青「津田、死んだか、遠からずおれも冥土に參る、三途川で死出の山かご仕立てさせおれの行くをまつてゐる、南無妙法蓮華經」



題目をとらへ

青「もつと石をつめ、つめのしつた、しかし青木をせめ殺してはならぬと今日の痛め吟味はこれにて止めた、青木には薬を興へ役人付添ひで牢に戻した、名主の多治見は青木の歸牢したを見

ございます、今聞きました、今日も落ちなかつたさうだ、石川五右衛門、熊坂長範」  
なぞと申してはげます、これから役付の者が總がかかりで青木の介抱をして○「相ごう間をうけたその人は何うしましたか」  
青「イヤ氣の毒なことをした、石を七枚抱いてとう／＼死んだよ」  
○「そいつはおかしいことをしたな南無妙法蓮華經」  
青「しかし罪をきき死んだものとて妻子にはすく扶

播磨守の命令で三好助右衛門が青木に白状させやうと幾度となくごう間にかけては津田幸次郎もごう間にかけこれに白状させてさうして青木をおさへやうとしたが、津田は死に、青木は白状せぬ、三好は大いに失望した、高橋小左衛門はごう間にかけるはよくないと反對したものとて、それ見れが舉動にあらはれる、三好はこれがまことにつらいそこで御老中の上申して青木をさつと詰りし處刑いたさんとした、御老中よりは評定所役人の意見を聞くことにした、寺社奉行、町奉行、公事方、勘定奉行、公事方とは訴訟を扱ふものをいふ、他に大目付、お目付、これらが協議をいたした、そこで察度詰といふは

品自慢と

正直な値段

自轉車リヤカー  
フタバ 商會  
新川町 郵便局前

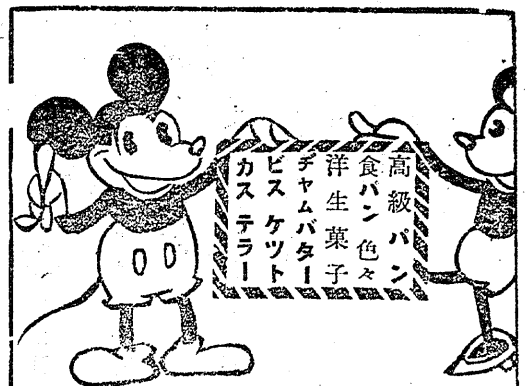
耳鼻咽喉科専門

大和田醫院  
南町 電話一七〇七

美味……  
新鮮……

東京堂のパン

平播穂小路  
電一〇八番



整形外科

醫學士 大河内一郎  
柔道 大河内寅男  
整復師 大河内接骨院  
平播穂小路四(電五八八)  
舊稱 大河内接骨院  
大河内整形醫院

新興日本のシンボル!

弊店特製の鯉のぼり大好評  
早月晴れの空に勇ましい鯉を漕へて日本男児の意氣を壽く五月節句が近づきました。弊店は逸早く尙武 祝に相應しい品々を豊富に取揃へ皆様の御來覽をお待ちして居ります。

- 大鯉のぼり (一間より七間迄) (御注文に應ず)
- 鐘外織 (二巾、三巾、五巾等)
- 特撰武者人形 (箱入ケース入)
- 甲冑揃
- 御座敷織
- セツト (五圓より百五十圓迄)

フクダヤ祝品部  
平一丁目